

No. 1 ARDS

No. 2 Sepsis

No. 3 AKI

No. 4 不整脈

■ 例えば reperfusion injury, 集中治療医学会, 脳神経外科学会では「再灌流障害」ですが, 麻酔科学会, 循環器学会, 腎臓学会の用語集では「再灌流傷害」。ネット上では, どちらかというと「障害」のほうが優勢ぞみ。「内科学用語集」(98 年)では「再灌流傷害」ですが, 学会ホームページの Journal@rchive で検索すると, 日本内科学雑誌でも「再灌流障害」があり, 「障害」と「傷害」が混在しているようです。時間経過のうちどの時点でかわるかで違ってくるのが, 不思議です。

要は“injury”。「ALI/ARDS 診療のためのガイドライン」では, 障害・傷害・損傷の使い分けについての説明があり, ALI を急性肺損傷としていました。で“AKI”, まだ定訳がないだけにどうするか。本誌では「純粋にコトバの持つ意味を尊重し」(解説より)「急性腎傷害」としました。failure から injury への言葉の変更は, 新たな概念の提示であり, 多数派に従って「障害」で統一してしまうようなことはできません。とまれ, 「傷害」と打ち込んだつもりでも, 確かめないと, ワープロは「障害」になっていることがあるので注意が必要です。

●訂正とお詫び

第 2 号の目次, 病態生理各論 (3) の執筆者名を「審良静夫」としましたが「審良静男」の誤りでした。訂正し, お詫びいたします。

広告一覧 (五十音順)

医学書院……588, 629
コンパテック ジャパン……477
シェリング・プラウ……表 2 対向
JSEPTIC セミナー……462
フクダ電子……表 4
羊土社……530

特集: 不整脈

さまざまな全身状態や心機能のもと, さまざまな不整脈と対峙しなければならない集中治療医に求められるものは, 循環器内科医に求められる不整脈管理とは大きく異なり, 既存のエビデンスや教科書的知識をそのままあてはめられるものではありません。本特集は, 集中治療ならではの acute setting における不整脈診療に必要な知識とは何かを考え, 現場で通用する知識を示すことを目的としています。

1. 不整脈診療の歴史の変遷

東京都済生会中央病院 循環器内科 三田村 秀雄

2. 不整脈診療の基本「心筋とイオンチャネル」

千葉大学医学部 病態制御治療学講座薬理学教室 中谷 晴昭

3. 抗不整脈薬の薬理

(1) Na チャネル遮断薬を知る

東京女子医科大学 循環器内科 志賀 剛

(2) K チャネル遮断薬を正しく使う

東海大学医学部 循環器内科 吉岡 公一郎

(3) マルチチャネル遮断薬としてのアミオダロン

吉岡 公一郎

(4) β 遮断薬

大阪大学大学院医学系研究科 麻酔科 林 行雄

【コラム】Vaughan Williams 分類と Sicilian Gambit 分類

志賀 剛

4. 心房細動治療の科学と実践「洗練された心房細動治療とは?」

(1) 心房細動ガイドラインの up to date

聖路加国際病院 循環器内科 西原 崇創

(2) 集中治療における心房細動の成立要因を考える

西原 崇創

(3) 心房細動における rate control について

心臓血管研究所 循環器内科 庄治 正昭・山下 武志

(4) 心房細動の rhythm control について

心臓血管研究所 循環器内科 朝田 一生・山下 武志

(5) 抗凝固療法の適応とその実際

藤田保健衛生大学 循環器内科 渡邊 英一

(6) 再発予防策と治療抵抗性心房(粗)細動の治療

慶應義塾大学医学部 循環器内科 相澤 義泰・香坂 俊

【コラム】短時間作用型 β 遮断薬の使用は心房細動診療をどう変えたか?

大阪大学大学院医学系研究科 麻酔科 林 行雄

【コラム】心房細動治療と心房粗動治療の相違

慶應義塾大学医学部 循環器内科 香坂 俊

【コラム】Wide QRS tachycardia の鑑別と治療

香坂 俊

5. 心室性不整脈の管理

(1) 心室性不整脈治療総論

University of California, San Diego 循環器科 齋藤 雄司

(2) 心室性不整脈の治療根拠を考える

齋藤 雄司

(3) 静注アミオダロンをいかに使用するか

神戸大学医学部附属病院 総合診療部 平岡 栄治

【コラム】リドカインの行方

自治医科大学附属さいたま医療センター 麻酔科・集中治療部 讃井 将満

(4) 治療抵抗性心室性不整脈について

国立循環器病センター 循環器内科 里見 和浩

6. 非薬物治療について

(1) カテーテルアブレーションの現状

慶應義塾大学医学部 循環器内科 福本 耕太郎・高月 誠司

(2) ICD 植え込みの適応と問題点

杏林大学医学部 循環器内科 池田 隆徳

7. 集中治療における特殊病態と抗不整脈薬の選択

(1) 抗不整脈薬の排泄・代謝経路/特殊病態での注意点

Loyola 大学 循環器科 伊藤 大樹

(2) 抗不整脈薬の有害事象

自治医科大学附属さいたま医療センター 麻酔科・集中治療部 塩塚 潤二・讃井 将満

※誌面の都合により, 内容が変わることがあります。

Vol.1 No. 3 2009 年 7 月 1 日発行 (年 4 回 (1,4,7,10 月 1 日) 発行)

ISBN978-4-89592-593-8

INTENSIVIST

1 部定価 (本体 4,600 円+税)
年々めり約購読料 18,480 円
(4 冊 税込み・送料弊社負担)

発行者 若松 博

発行所 株式会社 メディカル・サイエンス・インターナショナル

〒113-0033 東京都文京区本郷 1-28-36

電話: 編集部 03-5804-6053 FAX: 編集部 03-5804-6054

販売部 03-5804-6051 販売部 03-5804-6055

URL: <http://www.medsj.co.jp> E-メール: icc@medsj.co.jp

振替: 東京 7-28572

印刷所 横山印刷株式会社 電話 03-3622-6161

広告取扱 メディカルブレイン 電話 [東京] 03-3814-5980

日本医学広告社 電話 [東京] 03-5226-2791

福田商店広告部 電話 [大阪] 06-6231-2773

【COPY】<社出版者著作権管理機構 委託出版物>本書の無断複写は著作権法上の例外を除き禁じられています。複写される場合は, そのつど事前に社出版者著作権管理機構 (電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。

・本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込み, 送信 (送信可能化権を含む) に関する許諾権は弊社が保有しております。